

算数科 学習指導案

1 単 元 名 : 9●角柱と円柱の体積 体積の求め方を考えよう

第 6 学年 2 組

2 使 用 教 材 : 学習者用タブレット端末、デジタル教科書・教材

3 本 時 の ね ら い : 体積を求める公式を復習しつつ、角柱や円柱の体積も求められるようにする。

4 本 時 の 展 開

時 間	学習活動の内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
	導入		
2	○テレビにデジタル教科書を表示させ、直方体の体積を求める公式を復習する。 ○底面積について解説する。		△みらいスクールステーション一式 △東京書籍デジタル教科書・教材 ※既に学んだ公式を意識させつつ、底面積という新しい考え方に導く。
2	○学習者用タブレットに、デジタル教科書内のアニメーション教材を表示させる。 ●アニメーションを動かし、底面(平面)をたくさん重ねると立体になることを確認する。		
	発展		
4	○●デジタル教材の問題を児童といっしょに考える。 ・学習者用タブレットに、記入用の問題用紙を表示させる。 ・児童は問題用紙画面に解答を書き込む。 ・指導者用タブレットに児童の画面一覧を表示させる。 ●立体エ, オ, カの中から一つ選び、その体積を計算する。 ○エ, オ, カ、それぞれ選んでいる児童を画面一覧から選び、その児童のタブレット画面をテレビに並べて表示させる。 ・計算の答え合わせをしながら、どの立体が一番大きいか比べる。		※児童画面一覧機能で書き込みが止まっている児童が認められたらヒントを出すなどして手助けする。 ※画面上だけでなく、児童の仕草も見落とさないようにする。 ※頑張っている児童の姿を褒める。
3	○以上を踏まえ、円柱の体積の求め方について説明する。 ・身の回りにある円柱(ジュースの空き缶)を例にあげ、直方体以外でも「底面積×高さ」で体積を求められることを説明する。		△空き缶、空き缶の写真 ※より身近な実物を持ちこみ、問題に対する興味を持ってもらう。
	まとめ		
2	○振り返りとして、円柱の体積を求める式を選択方式で出題する。 ●問題に回答して「提出」ボタンを押す ○答えと自動集計された正解人数をテレビに表示させ、総括を行う		△デジタル練習問題 ※正解人数が多くても少なくとも児童の頑張りを認めて褒め、次時の活動への意欲に繋がるようにする。
1	○授業内容やタブレットの取り扱いについて児童の頑張っていた点を伝える。		

5 評価基準

- ・新しい学習ツールであるタブレットに親しむ
- ・楽しんで活動する
- ・公式を「底面積×高さ」に変形させることで他の角柱・円柱の体積も求められることに気づく

6 指導後の反省点等

--



みらいスクールステーション®

模擬授業ステージ

3つのポイント

1 デジタル教科書・教材が動く



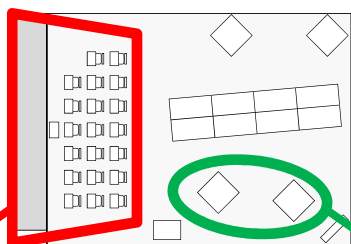
皆様にご体験いただく模擬授業は、2015年度の教科書改定以降、デジタル教科書・教材が日常的に使われるようになる、近いみらいの教室の姿です。準備が大変なパソコンではなく、タブレットで手軽に最先端の授業を行えます。アニメーションや動画など、動きのある楽しいコンテンツで子どもたちの理解を助け、学習意欲を高めます。

2 安価なタブレットも使える



タブレットの価格でお悩みの方も多いと思います。Amazon Kindle Fire HDのように安価でも高性能な機種はもちろん、価格と性能のバランスがとれた安価な機種でも動作します。詳しくは下記窓口までお問い合わせください。

3 実物に触って体験できる



模擬授業ステージ

先生タブレット体験コーナー

模擬授業では児童・生徒の立場でタブレットを体験いただけますが、授業を進行させる先生タブレットの体験コーナーもご用意しております。模擬授業ステージ反対側にございますので、ぜひお立ち寄りください。



富士ソフト株式会社 www.fsi.co.jp

みらいスクール専用ダイヤル ☎0120-964-529 受付時間 9:00~18:00 (土日・祝を除く)
みらいスクール事業部
〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町1-1 E-mail: support_kyoiku@fsi.co.jp

みらいスクール 検索